

平成26年度 第 6 回 倫理委員会議事要録

1. 日 時 : 平成26年11月4日 (火) 18:15 ~ 20:15
2. 場 所 : 特別会議室(管理棟3階)
3. 出席者 : 菅沼教授, 森信教授, 渡橋教授, 福島教授, 坂本教授, 宮村部長, 楠瀬部長, 上神准教授, 下方特任助教, 古郡前土佐リハビリテーションカレッジ 校長,
4. 列席者 : 総務企画課 研究推進室 宮原係長, 上田係員
5. 議 事 :

新規申請

(1) ICG蛍光による胸腔内腫瘍の術中同定法の開発

(26-49)

研究責任者: 外科学(外科2) 助教 廣橋 健太郎

研究責任者 の 外科学(外科2) 助教 廣橋 健太郎 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(2) 人工膝関節全置換術後症例における手部アイシングの有効性について

(26-50)

研究責任者: リハビリテーション部 理学療法士 近藤 寛

研究責任者 の リハビリテーション部 理学療法士 近藤 寛 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(3) 脊髄損傷患者の歩容改善のためのリハビリテーション手技構築

(26-51)

研究責任者: リハビリテーション部 理学療法士 細田 里南

研究責任者 の リハビリテーション部 理学療法士 細田 里南 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(4) KRAS遺伝子野生型で化学療法未治療の治癒切除不能な進行・再発大腸癌患者に対する一次治療における mFOLFOX6 + パニツムマブ併用療法を6サイクル施行後のmFOLFOX6 + パニツムマブ併用療法と5-FU/LV + パニツムマブ併用療法の第II相無作為比較試験 (SAPPHIRE study)

(26-52)

研究責任者: がん治療センター 部長 小林 道也

研究責任者 の がん治療センター 部長 小林 道也 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(5) 地域の嚥下機能の低下した介護二次予防対象者の実態調査

(26-53)

研究責任者: リハビリテーション部 言語聴覚士 土居 奈央

研究責任者 の リハビリテーション部 言語聴覚士 土居 奈央 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(6) ICG蛍光法による肺区域切除術

(26-54)

研究責任者: 外科学(外科2) 助教 廣橋 健太郎

研究責任者 の 外科学(外科2) 助教 廣橋 健太郎 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(7) 1年の完全分子遺伝学的効果を有する初発慢性期慢性骨髄性白血病に対するダサチニブ治療中断試験

(26-55)

研究責任者: 血液・呼吸器内科学 講師 池添 隆之

研究分担者 の 血液・呼吸器内科学 医員 池 成基 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。

(8) 若年女性の骨密度と内臓脂肪の関係

(26-56)

研究責任者: 病態情報診断学 教授 杉浦 哲朗

研究分担者 の 総合人間自然科学研究科医学専攻 大学院生 中村泰子 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認された。

(9) トホグリフロジンの安全性および有効性の検討 -前向き観察研究- (AYUMI: Assessment of safety and effectiveness: the clinical Use of tofogliflozin in patients with type 2 diabetes Mellitus)

(26-57)

研究責任者: 内分泌代謝・腎臓内科学 教授 藤本 新平

研究分担者 の 内分泌代謝・腎臓内科学 助教 高田 浩史 から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり修正等を加えることで承認された。